



地域医療通信

③

西脇市多可郡医師会 地域医療検討会 平成 21 年 2 月発行

全国自治体病院協議会で「西脇病院小児科を守る会」代表、村井さん。

「市民と医師の連携を訴える！」(神戸新聞より)

市立西脇病院小児科を守る会代表の村井さおりさんが、1月22日、東京で開かれた全国自治体病院協議会主催の院長・幹部職員セミナーで講演した。全国から集まった約200人に、守る会の発足の経緯や活動を紹介。「市民と病院、行政、医師らが信頼し連携することで地域医療を守る輪は広がる」と地域一丸の活動の必要性を訴えた。」村井さんは、同協議会会長の邊見公雄・赤穂市民病院院長から依頼を受け、「地域住民を守る自治体病院」をテーマにしたシンポジウムのパネリストとして参加した。守る会の勉強会グループ「スタディーママ」が続ける適正な救急受診についての講習会や、医師や看護師へのありがとう運動など、市民の立場で展開する病院支援策を説明。「医師の負担を減らす活動を、できる範囲で地道に続け、住民と医療界の懸け橋になりたい」と述べた。西脇市多可郡医師会とは「医療検討会に参加して、住民の意見を伝え、医療の知識を学んだことで、医師を身近に感じるようになった」と述べ、今後も連携を深めたいとした。一人に減っていた西脇病院の小児科医が四月から一人増員することも発表し、「市民や多くの関係者のおかげ」と感謝の意を述べた。(神戸新聞・篠原佳也)



と述べた。西脇市多可郡医師会には「地域住民と守る自治体病院」をテーマにしたシンポジウムにシンポジストとして参加させていただきました。シンポジストには「離島・隠岐の医療を考える会」幹事の門脇先生、「丹波新聞社」記者の足立さん、「千葉県東金病院院長」平井愛山先生という方々でした。それぞれのシンポジストが地域での取り組みについて話され、とても貴重な講演をお聞きすることが出来ました。参加者は約200名で、参加者の皆さんが医療のプロの方ばかりだったのでいつも以上に緊張をしました。東京

「西脇病院小児科を守る会」代表、村井さんからコメントをいただいた。

全国自治体病院協議会会長・幹部職員セミナーに参加して



西脇病院小児科を守る会 村井さおり

1月22日に東京で行われた全国自治体病院協議会会長・幹部職員セミナーにて「地域住民と守る自治体病院」をテーマにしたシンポジウムにシンポジストとして参加させていただきました。シンポジストには「離島・隠岐の医療を考える会」幹事の門脇先生、「丹波新聞社」記者の足立さん、「千葉県東金病院院長」平井愛山先生という方々でした。それぞれのシンポジストが地域での取り組みについて話され、とても貴重な講演をお聞きすることが出来ました。参加者は約200名で、参加者の皆さんが医療のプロの方ばかりだったのでいつも以上に緊張をしました。東京

へ行く前にある方から「村井さんは村井さんらしく、背伸びをせずに失敗しても自分の言葉で発表をすればいいのですよ。」というアドバイスをいただきました。緊張の中「自分らしく！自分らしく！」と自分に言い聞かせながら発表に挑みました。内容は市立西脇病院小児科を守る会のこれまでの活動報告、地域医療検討会のこと、そして医師会の取り組み、地域での取り組みを約30分間で発表してきました（写真参照）。発表が終わった後にどこの先生かは分からないのですが、「感動して涙が出そうになりました。ありがとうございました。」と私のところへわざわざ来て下さった先生がおられ、私も大変嬉しく思いました。今回私がこのような発表の場をいただけたのは、昨年9月に西脇市に講演に来て下さった全国自治体病院協議会の会長でもあり赤穂市民病院の院長の邊見先生がお声をかけて下さったおかげです。邊見先生のおかげで西脇市での取り組みを多くの方々に知っていただけたことを大変光栄に思っております。邊見先生が「西脇市も医師会を中心にがんばっておられますね」とおっしゃってくださいました。私たちが活動をする中で多くの方に言われる言葉が「西脇は医師会が協力的でうらやましい」とよく言われます。そして今回、市の職員の方も一緒に東京に同行してくださいました。改めて医師会をはじめ地域の方々のご協力に感謝しております。私たちはこれからも住民として、母親として出来ることを見つけながら守る会の活動を続けていきます。

西脇にこの様なお母さんたちがいることを「西脇の宝」として誇りに思いつつ、さらに病院・医師会・行政・市民が一体となって、地域医療を守り、地域を守る活動を展開していきましょう。村井さんたち、ご苦労様でした。拍手（パチパチパチ！！）

「第11回地域医療検討会」へのお誘いと依頼！

前回の地域医療検討会では、西脇区・日野地区・比延地区での講演会での住民の関心の高さと思いを止めつつ、更に地区別講演会を推進することを確認しました。（次回には詳細がお話できます。）と同時に思いを展開する受け皿を設定することを確認しました。すなわち、医療崩壊を阻止し、地域を守る「市民フォーラム」を開催します。この様々に人が参加できる、真の「市民フォーラム」にするために、知恵を貸してください。次回の検討会では、どのようなフォーラムにしたらいいか話し合います。皆様のご意見を持ち寄ってください。西脇病院の職員の方、医師。行政の方、市民の皆さんの参加をお待ちしております。わいわいとグループワークで話し合しましょう。みんなの知恵を出し合っ

て、「市民フォーラム」を成功させましょう。 **また次回の検討会では**

全自協での村井さんの発表を皆さんと一緒に聞かせていただきます。

「地域医療検討会」は、毎月第2水曜日に行っています。

2月は、18日（水曜）7時半から西脇区会館（コミセン）です。

多くの方の参加をお待ちしております。（3月は11日です。）

お尋ねは、西脇市多可郡医師会 <Tel 0795-23-3402>

メール会員の登録はこちらへ：tomihara@tomihara.com

検討会などの案内・連絡・情報提供を行っています。